歴史 30　中2 社会　穴埋め　こたえ

日本の産業革命

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿ 月 ＿＿＿＿ 日

飛鳥　奈良　平安　鎌倉　室町　安土桃山　江戸　**明治**　大正

今日の問い

日本の産業革命はどのように進み、人々の生活にどのような影響をあたえたのだろう。

下線に当てはまる語句を書こう。同じ番号には同じ語句が入る。左の欄の説明もヒントにしよう。

1 軽工業と重工業の発展

産業革命

- ① 綿花から綿糸をつくる工業。
- ② 蚕のまゆから生糸をつくる工業。
- ⑥ 1901年に操業を始めた官営の製鉄所。
- ⑧ 多くの業種の会社を経営した資本家の一族。

1880年代から日清戦争のころにかけて、日本では 1 **紡績** や 2 **製糸** などの 3 **軽工業** を中心に 4 **産業革命** が進んだ。大阪などに、輸入した機械を使う大きな紡績工場が建ち、原料の綿花をインドや中国から輸入して綿糸を大量に生産した。1897年には、綿糸は輸入より輸出が多くなった。製糸業がつくる 5 **生糸** は、アメリカなどに向けた最大の輸出品となった。

日清戦争の賠償金の一部も使って、福岡県に官営の 6 **八幡製鉄所** がつくられ、1901年に操業を始めた。日露戦争のころには、鉄鋼や造船などの 7 **重工業** も発達した。三井・三菱・住友などの 8 **財閥** は、銀行・鉱山・貿易など多くの業種に進出し、日本の経済に大きな力をもつようになった。

産業	おもな内容
軽工業	紡績（綿糸）・製糸（生糸）。生糸は最大の輸出品
重工業	6 **八幡製鉄所**（やはたせいてつしょ）（1901年）の鉄鋼・造船など
交通	民間の鉄道が広がり、1906年に主な鉄道が国有化された

2 労働問題と公害

社会問題

- ⑩ 1911年に定められた、労働者を守るための法律。
- ⑪ 栃木県の足尾銅山から流れ出た鉱毒による公害事件。
- ⑭ 自分では耕作せず、小作料で生活する大地主。

紡績や製糸の工場では、農村から来た若い女性が多く働いた。寄宿舎に住みこみ、低い賃金で長い時間働かされることが多かった。労働者は 9 **労働組合** をつくって待遇の改善を求めるようになった。1901年には社会主義の政党もつくられたが、政府はすぐに解散を命じた。1911年には、12歳未満の子どもの労働の禁止や労働時間の制限を定めた 10 **工場法** が制定されたが、その内容は不十分だった。

栃木県では、足尾銅山から流れ出た鉱毒が渡良瀬川流域の田畑や人々に被害をあたえた（ 11 **足尾銅山鉱毒事件** ）。衆議院議員の 12 **田中正造** は、議会でこの問題を取り上げ、1901年には議員を辞めて天皇に直訴しようとするなど、一生をかけて被害を受けた人々の救済を訴えた。農村では土地を手放して 13 **小作人** になる農民が増え、 14 **寄生地主** との貧富の差が広がった。

できた □ / 14